

平成 29 年 2 月 20 日

2 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は年度末に向けて間伐中心に順調、入荷も平年並み。スギ柱製品の極端な品薄状態は緩和されつつあるが、大手製材工場のフル生産が続き、原木の在庫不足は解消されず。スギ柱材の引合いは依然強いが中目材は落ち着く。ヒノキは柱材の引合い強いが中目材は弱い。スギは柱材が製材工場の旺盛な原木手当が続くなか高値相場を維持、中目材は保合。ヒノキは柱材が保合で中目材は弱保合で推移。

群馬の製材工場は 2 月も受注が好調、原木も潤沢なため順調な稼働続く。例年より降雪が少なく原木の出材は順調。システム販売や民有林からの入荷も順調。製品販売は年明けも大型公共物件の発注により順調に推移。製品在庫は注文品生産に追われ全般に少なく、特にスギ・ヒノキ柱は落ち着いてきたが、母屋・桁・貫は依然品薄。価格は低位安定状態が続く。例年同様公共物件は年度末完成に向けて慌ただしい状況。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、1 月中旬の降雪による出材減で原木価格が上昇気配ながら、国内製材価格が振るわず製材工場の原木手当意欲は低く、原木の価格上昇は限定的。産地港頭在庫は出材減少で極めて低く、2 月には材待ちによる滞船が予想される。ウエアハウザー社の 2 月積み対日米マツ価格は、前月積比一律 \$ 10 アップ。12 月の米材丸太の入荷量は 188 千 m^3 、2016 年累計では前年比 9% 増。出荷量は 213 千 m^3 、同累計では 6% 増。在庫量は 241 千 m^3 で前月比 25 千 m^3 減。日本国内の大手米材工場は 1 月半ばから売行き鈍る。米加針葉樹製材品協定失効後、カナダ製材品の米国へのダンピング販売等に対する米貿易委員会の判断が 1/9 示され、提訴内容の合理性が示されたことから課税の方向に一歩近づいた。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)1 月の入荷量は 29 千 m^3 (前月比 4.2% 増)、出荷量は 28 千 m^3 (同 1.1% 増)。在庫量は 47 千 m^3 (同 1.5% 増)。12 月の米国住宅着工は、年率換算 119 万戸で前月比 11.3% 増。ランダムレングス紙の 1 月下 15 種木材価格平均は、\$ 355/M で 12 月末比 1.5% 減。現地価格はスポットでドルベースではほぼ大手と同様。今後仕事の一服感と為替の乱高下により、日本側の買

付意欲は少ないと予測。先行き 2 月まではプレカット中心に各社とも忙しかったが、3 月以降は仕事が減少する見通し。

3. 南洋材

サバは旧正月で伐採、製材とも停止し、原木・製品の入荷は 3 月まで期待薄。その後も雨期明けまでは原木供給は細ると見込まれ、製材品も供給不足が予想。サラワクは雨により伐採が低調なうえ旧正月で出材は停止状態。暫くこの状態は続き、相場もインド勢の買気に押され高止まり。PNG ソロモンはマレーシアの出材低調を受けインド、中国からの引合いが高まり、強気な価格は変わらず。丸太の入荷は増加、出荷・在庫は横這い、製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品の今後の相場展開は円安と現地高を受け、集成材は値上がり必至。デッキ材や造作材の動きも低調。

4. 北洋材

シベリア地域の伐採は順調だが、エゾ・トド・カラマツの比率が高くアカマツ丸太が不足。輸入製品は中国、日本の購買意欲が高く原料価格は高止まり。丸太価格はエゾマツ・カラマツ \$ 150、アカマツ \$ 175 でいずれも強保合。製材品は現地挽き上級グレードが円貨で強含み、国内挽きは値上げトライ中。アカマツ原板は \$ 370 で強含み。荷動きは現地挽き 3,0cm×4.0cm 上級グレード堅調、3m タルキは鈍い。国内完成品は良質グレード、胴縁・貫が堅調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼動は通常通り、12 月の原材料調達状況は丸太が通常量、原板は入荷少ないが 2 月から回復。上級材・特殊材の受注多いが対応難しい。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調で価格は横這い継続。ロシア材は出材少なく船積みに時間を要している。価格は横這い。米材は例年より雪が多く伐採が遅れている状況。国内向け、中国向けも需要旺盛で価格は強め。南洋材は引続き原木事情厳しく、価格は高値張り付きで推移。12 月の国内合板総生産量 25.1 万 m³のうち、針葉樹合板は 23.9 万 m³と 4 ヶ月ぶりに 25 万 m³を下回る。出荷量は 23.9 万 m³と依然高水準。在庫量は 8.9 万 m³、うち構造用合板は 7.7 万 m³で依然として低水準。国産針葉樹合板の 2 月販売価格は 12mm が 20 円、厚物で 50 円の値上げを打ち出す。需要旺盛で受注残が多い中、多少の混乱はあっても価格は浸透していく見通し。

国産針葉樹合板は品薄状態が続く。通常この時期には需要も収まってくるが、今年は需要旺盛、受注残も大量に抱えたままで、デリバリーの改善も見えてこ

ない状況。輸入合板は12mm系の玉の逼迫感は薄らぐが、各商社とも在庫の少ない状態が続く。価格は確実に上昇傾向。先行き国産針葉樹合板は、先月同様多くの受注残を残す。新規受注は若干落ち着きを見せているが、急激な市況変動は考えにくい。輸入合板はアイテムによって供給面の不安要素を残す。価格は為替変動による不安はあるが強気での推移が続く見通し。品薄品目は針葉樹合板全般、輸入薄物合板。

6. 構造用集成材

直近の入港は極めて多い状況。対ユーロ122円の玉が入港しており、今後3月までラミナ価格は円貨ベースで上昇する見通し。国産集成材の受注は年明け後も好調。販売・荷動きとも良好で、RW梁桁は品不足が続く。WW柱の欠品は解消し荷動きもますます。販売先行きは年明けもビルダーの好調により受注は旺盛だが、忙しさは1月までで、2月中旬以降は一服感の見込み。在庫はRW梁桁が生産より受注が多いため極少。WW柱は増加傾向。価格はWW柱・間柱とも横這い、RW梁桁は値上げ。輸入集成材は供給の不安定が続く。現地船積みは安定せず納期遅れが慢性化、当分は輸入不足が続く見通し。為替の影響はまだ見られず価格は横這い。首都圏の分譲ビルダーの動き良く、この地域のプレカット工場は忙しい。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷状況は、FITが在庫積み増しで年末年始稼働。解体材は年始に減少したが、以降は例年並み。消費は製紙用が針葉樹中心に順調、燃料用は例年並みだが、一部で雪のため供給に影響が出た。在庫は正月休みと大雪で減少。針葉樹チップ価格は横這い。輸入チップは為替レートの変動に伴い価格・運賃とも先行き不透明。国内チップ工場の操業状況は例年並みだが、現場作業員・運転手不足が慢性化。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ柱角の入荷少なく荷動き好調。造作材はリフォーム需要が堅調で、スギ・ヒノキとも内装用が良好。外材の構造材は米マツ、米ツガ、米ヒバがまずまずの動き。為替が不安定のため在庫の積増しは慎重。造作材はスプルー・米ヒバの動き好調、米マツの小角・割り物に品薄感。国産材・米マツ・ロシアアカマツの一部製品に品薄感漂い、欠品材も出てきているが買方の冷静な対応が目立つ。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルース・ピーラー平割保合、タモ・ナラ平割保合。集成材は WW、RW の柱・梁保合。合板は国産針葉樹、輸入品ともに保合。プレカット工場は見積・加工とも順調。工務店は依然新築は少ないが増改築に明るさ見える。

2月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	↗	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	→
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↗	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	↗
			アカマツ(KD)16×40上級	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗